

RACE REPORT

Japanese Endurance Race

Super Taikyu

Auto Labo

ENEOS BRIDGESTONE

#291 AutoLabo Racing 素ヤリス

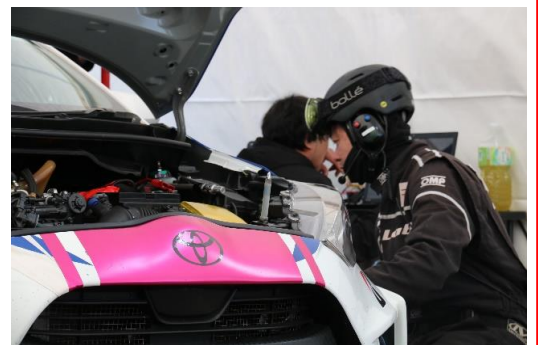
ENEOS スーパー耐久シリーズ2025 Empowered by BRIDGESTONE
第1戦 もてぎスーパー耐久 4 Hours Race

日時：2025年3月22～23日 サーキット：モビリティリゾートもてぎ
予選日 Race1：2025年3月22日 決勝日 Race1：2025年3月22日

ドライバー：Aドライバー北川 剛 Bドライバー小尾 夏月
Cドライバー吹谷 禎一郎

< STEL専有走行 >

4年目のシーズンを迎えた素ヤリス。今シーズンからST5クラスはFF車両とFR車両がクラス分けがされる事となり、素ヤリスにも上位に食い込める可能性も出てきた。開幕戦の舞台はモビリティリゾートもてぎ。春の暖かさが感じられる中、3月20日（木）には2回の特別スポーツ走行が、21日（金）には2回の専有走行が予定された。少ない時間の中、週末に向けたマシンのセットアップを進めていった。木曜日の走行では、まずBドライバーの小尾が走行開始していく。そして吹谷と周回を重ねていった。走行終了しピットに戻って来たが突然エンジンがストップ。原因を追及していくがエンジンを乗せ換える事となり、専有走行を終える事となった。



< Race1 予選 > 8位 / 8台中

快晴となったモビリティリゾートもてぎ。8時25分からRace1のAドライバー予選がスタートしていく。前日の走行が出来ていない中での予選という事になったが、まずはマシンのチェックを行いながらの予選アタックに備えていった。1周目にマシンに問題がないことを確認し、アタックしていった。タイムは2'25.847となった。続いて、Bドライバー予選が開始となった。小尾は5周をしタイムは2'24.246と、クラス7番手で予選を終えた。決勝は8番手からスタートとなった。Cドライバー予選の吹谷は、決勝で使用するブレーキの焼き入れを行いながらの予選となった。



AutoLabo Racing PARTNERS

YOSHINO MOTORS



素ヤリス



株式会社 ミライズ

KTC

RACE REPORT

< Race1 決勝 > 7位 / 8台中

予選後3時間のインターバルがあり、迎えたRace1の決勝。気温24度という初夏の暖かさの中、4時間レースがスタートしていく。スタートドライバーを務めたのは北川。スタート直後の1コーナーで1台をパス。続いて3コーナーでもスタート直後の混雑を利用し、1台をパス。1周目は6番手で戻ってきた。しかしストレートであっさりとパスされてしまう。何とか必死に食らいついていった。スタートから1時間が過ぎようとした頃、1回目のピットストップを行った。ここでドライバーを小尾へと交代していく。スーパー耐久に参戦するのが2レース目の小尾ではあったが、落ち着いた走りでも周回を重ねていった。



2' 27秒の安定したラップを続けていた小尾が、53周目にピットイン。小尾から吹谷へとドライバー交代していく。コースインした吹谷はマシン、タイヤを労わりながら自らのステイントをこなしていった。スタートしてから3時間が過ぎた72周目に3回目のピットストップを行った。最終ステイントを担当するのは小尾。素早くピット作業を終え、コースへと戻っていった。最終ステイントの小尾のペースはよく、2' 26~27秒のペースで周回していった。ここまでクラス7番手を走行していく。このレースウィークはほとんど走行が出来ておらず、マシンのセットアップが出来ていない中ではあったが、懸命のマシンをゴールまで運んでいく。そして、4時間のレースを走り切り、クラス7位でチェッカーを受ける事となった。

< 代表コメント >

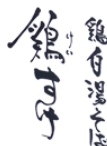
今シーズンから2台体制となり、チーム体制も変わった中で開幕戦。まずは2台ともしっかりと4時間を走り切れてよかったと思います。ヤリスの方もまだまだ改良する点も多く、しっかり煮詰めて次戦に備えたいと思います。



AutoLabo Racing PARTNERS

 YOSHINO MOTORS


光自動車


龍石製鉄

 Factory

 Ride

 株式会社 ミライズ

 KTC